

AGU Fall Meeting 2020 参加報告

氏名： 野村太志
 所属： 工学研究科(修士2年)
 期間： 令和2年12月1日~12月17日
 場所： オンライン

私は、12月1日~12月17日にオンライン上で開催されたAGU Fall Meeting 2020に参加し、大会期間中のiPosterの掲載に加えて、12月16日午前0時(JST)からのSM044 - The MacGyver Session: The Place for Novel, Exciting, Self-Made, Hacked, or Improved Sensors and Software Solutions to Understand Space Weather eLightningセッションにおいて、Application of Magneto-impedance Sensor to Geomagnetic Field Measurements for Constructing Distributed Arrays of Small Instruments (DASI)というタイトルで発表を行いました。発表の内容は、磁気インピーダンスセンサを用いた低コスト磁力計を作成し、そのテスト観測の結果を議論し、今後の展開を紹介するというものです。

国際オンライン学会への参加は2度目でしたが、これほど規模の大きな大会は初めてで緊張いたしました。私が発表したセッションでは、これまで自分が論文紹介などで読んでいたScintPiやAurorasaurusの著者の方が登壇されていて、私も同じセッションで登壇できることに感動いたしました。また当日discussionのJamboardや後日メールにて質問を受け、貴重な経験になりました。最後に、学会経費支援をして頂いたISEE国際連携研究センターの若手海外派遣支援プログラム関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

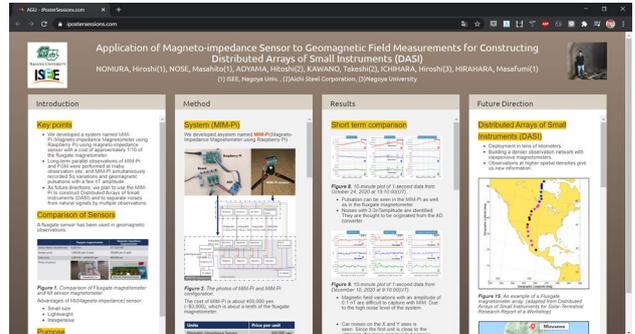


図1 iPosterのスクリーンショット

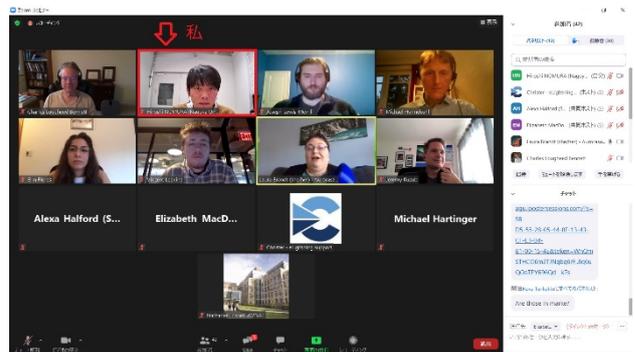


図2 eLightning sessionのようす

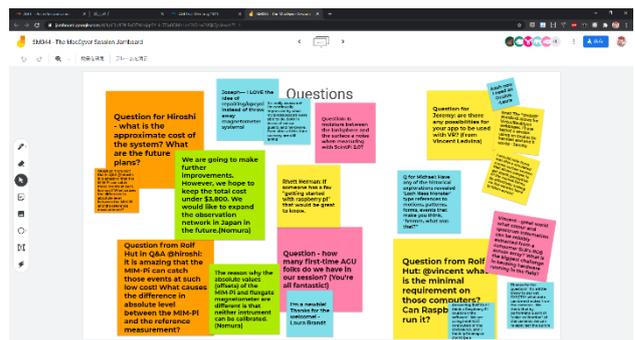


図3 discussion用のJamboard

<指導教員>
 能勢 正仁